

教宣福岡 2号

全損保日勤外勤支部
福岡分会
平成17年10月8日
発行：福岡分会教宣部

全損保定期全国大会に、日勤外勤支部福岡分会より3名が、広島地協の代議員として参加されました。今回、佐賀区会の田中浩彦さんより大会報告、大牟田区会の内田充夫さんより大会に参加しての感想を受けていますので報告します。



大会報告 執行委員 田中浩彦

第62回定期全損保大会が、9月19日・20日に日本青年館で開催され、2005年度の運動統括と、2006年度の運動方針が確立されました。

福岡分会から、広島地協・福岡地協連絡会の代議員として堀委員長、内田さん、私、田中の3名が参加しました。大会では多くの発言があった中で、朝日闘争全面勝利、また、2006年度運動方針の中では、日勤外勤支部の闘いに多くの時間がさかれ、大会スローガンには『**日勤外勤支部の闘いを全力で支援しよう**』がもりこまれました。

大会では、堀委員長が福岡地協連絡会の昨年の運動、2006年度の運動方針について発言されました。又、内田さんは合併と同時に正社員になり、組合分裂の中、日勤外勤の組合員になり不安もありましたが、今回の大会に参加して、全損保組合員、1万5千人の人たちに支えられていることを実感し、心強く思ったことを発言されました。

大会に参加しての感想 大牟田区会 内田充生

全国大会でまず感じた事は参加者皆が非常に熱意を持って大会に臨んでいたという事です。私は初め2日間も何をそんなに話しあうのかと思っていましたが、大会が始まってすぐにその疑念が晴れました。委員長による大会議案の説明そして27年間にも及ぶ朝日火災提訴団の闘いの全面勝利解決報告がありました。特に朝日火災の問題については保険会社を問わず全損保の闘いとして27年間も一丸となって共に闘ってきたと聞き本当に驚きでした。なぜなら私自身が27歳であり自分の人生が始まった頃から皆で闘っていたと言うことを知ったからです。それと同時に27年も一糸乱れず行動をしていた全損保の団結力・行動力に驚き、また全然違う会社の人達が自分自身の事の様に考え行動していたと知ったからです。現在の風潮では隣人に何か問題が起こっても他人事と捉え全く興味を持たずに潰されて行く人がいてもしょうがないと諦めてしまうのが当たり前の中なのに全損保の仲間の行動は、現在の人達が忘れている人間らしさが溢れる行動を当たり前前の事として、堂々とやってきたと聞き私は全損保の素晴らしさを感じました。そして朝日提訴団の方をはじめ発言される方々が必ずと言って良いほど「次は日勤外勤支部の闘いだ！！」と発言を締め括られるのを聞き大きな勇気を貰いました。私は組合員になって1年少々で職場でも一人でしたので正直不安な事が多かったのですが、そんな事どこかへ吹っ飛んでしまいました。またその事を討論の最後に発言させて頂きました。

全国大会に参加し貰った勇気を胸にして今後も日勤外勤支部の一員として誇りをもって行動しようと誓った大会でした。